今年度の議員としゃべろうマチトーーク!! 議会フォーラム 2026 は、各常任委員会においてトークテーマをそれぞれ設定しました。市民の皆さんの声をできる限り具現化するために、今後の委員会活動につなげていきます。

それぞれのテーマで出された主な内容と、そのあとの市議会、委員会のうごきをお伝えします。



日　　時：令和８年７月11日（土）
第一会場：道の駅おがちレストラン二ツ森
第二会場：湯沢市皆瀬庁舎









みなさんの想いを議員が七夕まつりの短冊に飾り付けました







第一会場：道の駅おがち



第二会場：湯沢市皆瀬庁舎

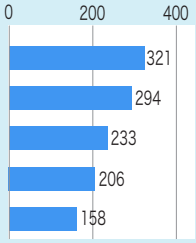
総務財政常任委員会

みんなで身近な地域交通への期待を考える



委員会でイメージするオンデマンド交通の図
（本市でも調査、計画が進められている。）

選択項目	回答数	割合
医療体制の不足	321	58.4%
所得の減少、家計の不安定さ	294	53.5%
移動・交通の不便さ	233	42.4%
心身の健康状態の悪化	206	37.5%
日常の買物や飲食の不便さ	158	28.7%



市が毎年実施している調査のうち、不安を感じている事項に交通は必ず上位に上がっている

どんな声があった？ 意見交換での主な内容

皆瀬会場

① 車がなくても生活できる交通を確保してほしい
② 「ドア・ツー・ドア」など、利用者に合わせた交通が必要
③ ライドシェアなど地域で支える交通を検討してほしい
④ 買い物・通院・観光など、目的に応じた移動手段が必要
⑤ バス・電車の乗り継ぎや運行エリア・本数に課題がある
⑥ 地域の実情に合わせ、持続可能な交通体系を考える必要がある

雄勝会場

① 免許返納後も安心して暮らせる交通を確保してほしい
② バス・電車の本数が少なく、移動の自由が制限されている
③ 買い物・通院など日常生活を支える移動手段が必要
④ スマホを使わなくても利用できるデマンド交通が必要
⑤ タクシー・乗り合いなど、柔軟な移動手段を充実してほしい
⑥ 「移動すること自体が楽しみ」になる交通も必要

まとめ

●両地域の意見を横断してまとめ、意見を次の5つに整理した。

1.免許返納後も安心して暮らせる交通の確保
2.本数・路線・乗り継ぎなど、現在の公共交通の不便さの改善
3.高齢者にも使いやすい、ドア・ツー・ドア型・デマンド型交通の導入
4.買い物・通院だけでない、交流・観光・楽しみまで含めた「移動の目的」の確保
5.地域ごとの実情・需要に応じた、持続可能な公共交通体系の構築

今回の意見交換会では、単に「バスを増やしてほしい」という話だけではなく、車を運転できなくなった後も、その人らしく地域で生活できるが必要であるというところまで意見が広がった。市で今後導入するデマンド交通については注意深く確認し、意見のあった項目に沿った交通体系を目指していきたい。



同じ市内でも交通に対する考え方や現状については、微妙に違います。

